

Dustex master / Dustex master plus

No. 2626-xxxx

***Bedienungsanleitung
Instruction manual • Mode d'emploi
Istruzioni d'uso • Instrucciones para el servicio
Gebruiksaanwijzing • Инструкция по эксплуатации***



Renfert GmbH • Industriegebiet • 78247 Hilzingen / Germany
Tel. +49 7731 8208-0 • Fax +49 7731 8208-70
info@renfert.com • www.renfert.com
Made in Germany

Renfert

0405 21-9955 A

Dustex master / Dustex master plus

品番 2626-xxxx

日本語

1. 始めに

このたびはレンフェルト社の吸引ボックス *Dustex master* 又は *Dustex master plus* をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

Dustex master 及び *Dustex master plus* は吸引ボックスの2つの様式です。*Dustex master* にはアンダグリッドがあり、*Dustex master plus* にはこの個所に吸引チャンネルがあります。

Dustex master 吸引ボックスに吸引チャンネルを取り付けることはいつでも可能です、「吸引チャンネルの取り付け」の章を参照。



長く、また問題のない機能を保証できるよう、以下の取扱説明書を注意してお読み下さるよう、お願いいたします。

2. 使用分野

歯科技術ラボ、開業医ラボ及びこれに比較し得る職業部門(例、金細工、鋳型作成)ではプラスチック、ギブス、セラミックス及びその他マテリアルの研磨時に塵埃及びスチームが発生します。ユーザーの方はこの吸引ボックスにより塵埃及びスチームの負担を緩和でき、これにより良好に保護されることとなります。

側面の大きな開口部により、作業が容易になります。吸引ボックスは同時にこの理由により放射機器を使用するの運転には不適切になります。

2.1 環境条件

(DIN EN 61010-1 に基づく)

本装置は以下の条件においてのみ使用することができます:

- ・ 室内、
- ・ 海拔 2,000m まで、
- ・ 5-40°C [41-104°F] *) の周辺温度、
- ・ 31°C [87.8°F] における最大相対湿度 80%、40°C [104°F] *) において線減少しながら 50% まで、
- ・ 電圧の振れが定格値の 10% 以上にならない場合はネットでの電力供給、
- ・ 過電圧範疇 II、
- ・ 汚染度 2。

*) 温度 5-30°C [41-86°F] では本装置は最大湿度 80% においてまで使用することができます。温度 31-40°C [87.8-104°F] では使用を保証できるように湿度は相関的に減少しなければなりません(例として 35°C [95°F] = 湿度 65%、40°C [104°F] = 湿度 50%)。温度が 40°C [104°F] 以上になる場合は本装置を使用してはなりません。

3. 危険指摘事項

3.1 使用シンボル

この取扱説明書及び本装置には以下の記号が使用されています:



危険
直接、負傷する恐れがあります。



電圧
電圧による危険があります。



注意
この指摘事項を遵守しない場合には本装置が損傷する恐れがあります。



指摘事項
操作に役に立ち、そして取り扱いを容易にする指摘事項が記されています。



安全メガネを着用。



室内での使用のみ



装置を開く際に電源ケーブルから切り離し、プラグを抜いて下さい。



取扱説明書に注意。

3.2 危険指摘事項

- ・ 吸引ボックスは危険が発生し得る電気装置です。
- ・ 本装置は必要となる場合には国内規格と整合性のあるプラグシステムに改造した後でのみ使用することができます。この改造は電気専門工だけが施工しなければなりません。
- ・ 本装置は型式ラベルの記載事項が当地の電圧ネット規定に相当する場合にのみ使用することができます。
- ・ 吸引装置がない場合には有害な塵埃及びスチームに対する十分な保護がなされませんので、吸引ボックスは適切な吸引装置又は適切な保護具なしでは絶対に使用しないで下さい。吸引様式は作業プロセスで発生する塵埃及びスチームに適切なものにして下さい。これについては EN 60335-2-69 補足 AA を必ず参照するか、管轄当局にお問い合わせ下さい。

- ・吸引ボックスは放射装置との使用には不適切です。
- ・吸引ボックス内の研磨装置を不適切に使用しますと、眼及び肌を負傷する恐れがあります。
- ・眼又は露出している肌に向かっては絶対に研磨しないで下さい!
- ・点検ガラスを開いたままでは絶対に作業しないで下さい!
- ・本装置を運転するには適切な安全メガネを着用して下さい! 適切な保護がなされない場合には飛散する粒子で眼を負傷する恐れがあります。
- ・発光体の交換前にプラグを抜いて下さい。
- ・発光体の交換時には発光体を押し付けたり、あるいは曲げたりしないで下さい(破損の危険)。飛散物に対する保護として手袋又は布を着用して下さい。
- ・電気ケーブルは始動前に検査して下さい。損傷したケーブルを有する装置は使用してはなりません。

3.3 責任免除

レンフェルト有限会社は以下の場合には損害賠償及び保証責任請求を認めることはできません。

- ・本製品を取扱説明書に記されている目的以外に使用する場合。
- ・本製品を取扱説明書に記されている変更方式以外で変更する場合。
- ・認可されていない工場が本製品を修理する場合、あるいはオリジナル・レンフェルト交換部品を使用しない場合。
- ・安全性に関する危険が明確に認められるにもかかわらず、本製品を使用する場合。
- ・本製品に機械的打撃を加えたり、あるいは落下させる場合。

4. 取り付け / 始動



本装置を電源に接続する前に電圧ネット接続データが吸引ボックスの型式ラベルのデータに相当することを確認して下さい。

4.1 本装置の吸引装置への取り付けと接続

吸引ホース / 吸引管を接続して下さい(写真 1)。

4.2 発光体の取り付け



発光体の交換時には発光体を押し付けたり、あるいは曲げたりしないで下さい(破損の危険)。飛散物に対する保護として手袋又は布を着用して下さい。

1. 発光体を水平に置いて下さい(写真 2)。
2. ホイルの両側をランプカバーから取り除いて下さい(写真 3)。
3. ランプカバーを取り付けて下さい(写真 4)。
4. ルレットナットを締めて下さい(写真 5)。

4.3 装置の始動

1. 電源ケーブル / 吸引ボックス(写真 6)及び電源ケーブル / プラグを接続して下さい(写真 7)。
2. 装置のスイッチを入れて下さい(写真 8)。

吸引ボックスの準備が完了しました。

4.4 吸引チャンネルの取り付け

(Dustex masterだけに有効)

Dustex masterは吸引チャンネルキット(付属品参照)を使用しますとDustex master plusに装置変えすることができます。

このために以下の装置変えが必要です:

- ・アンダーグリッドを取り除いて下さい(写真 9)。
- ・吸引チャンネルを後方に押し、サポート部が装置背面の開口部に挟まるようにして下さい。
- ・吸引チャンネルを前方にポールピン上に押し付け、差し込んで下さい(写真 10)。

4.5 点検ガラスの向き変え

点検ガラスは一方の面がプラスチックでコーティングされています。

ディスクのどちらの面を内側に向けるかは眼保護シンボルの位置で判ります:



左 >>> コーティングは内側(写真 11)



右 >>> ガラスは内側(写真 12)

このコーティングは磨耗及び研磨時に発生する塵埃に対して特に強い耐性を誇ります。

プラスチックを含む物質の研磨及びフライス加工時には静電により塵埃と微粒子がコーティングに付着する場合があります。



同様に溶剤を含む研磨剤もコーティングを損傷させる場合があります。

このような場合には点検ガラスの向きを変え、ガラス面を内側に向けることができます。

このためには次のようにして下さい:

1. 螺子を緩めて下さい(写真 13)
2. ガラスを引き抜いて下さい(写真 14)
3. ガラスを回して下さい
4. ガラスを取り付けて下さい(写真 14)
5. 螺子を締めて下さい(写真 13)

4.6 アームレスト(写真 15)

作業を容易にするために吸引ボックスにアームレストを(付属品参照)を取り付けることができます。

取り付け説明書はアームレストに同梱されています。

4.7 ルーペ (写真 16)

吸引ボックスにフレキシブルアーム付きのルーペ (付属品参照) を取り付けることができます。

取り付け説明書はルーペに同梱されています。

5. 清掃 / メンテナンス

5.1 内部の清掃

- 溶剤を含まないクリーナーだけを使用して下さい (例、せっけん液)。
- アンダーグリッドと吸引チャンネルを取り除き、作業室を吸い出して下さい (写真 17)。
- 吸引チャンネルを清掃するために吸引グリッドを取り外して下さい (写真 18)。

5.2 点検ガラスの交換

取り付け説明書は新しいガラスに同梱されています。

5.3 ウッドプレートの交換

ウッドプレートが研磨作業により損傷した場合、あるいは古くなり見かけが悪くなった場合には、簡単に取り替えることができます。

- ウッドプレートを上に引き抜いて下さい (写真 19)。
- ボールピンの付いた新しいウッドプレートを吸引ボックスの穿孔部内に押し込み、差し込んで下さい (写真 19)。

5.4 発光体の交換



電源ケーブルをまず引き抜いて下さい。



発光体の交換時には発光体を押し付けたり、あるいは曲げたりしないで下さい (破損の危険)。必要に応じて飛散物に対する保護として手袋又は布を着用して下さい。

1. ランプカバーのルレットナットを外して下さい (写真 5)。
2. カバーを取り除いて下さい (写真 4)。
3. 発光体をソケットから水平に引き抜いて下さい (写真 2)。
4. ソケットは必要に応じて吸い出して下さい。
5. 新しい発光体を水平に入れて下さい (写真 2)。
6. ランプカバーを取り付けて下さい (写真 4)。
7. ルレットナットを締めて下さい (写真 5)。

6. 交換部品

交換部品番号を添付の交換部品リストで確認して下さい。

7. 保証

レンフェルト社は 吸引ボックス *Dustex master* 及び *Dustex master plus* を適切に使用した場合に限り、各部品に対して **3 年間の保証**をいたします。

自然に消耗する部品 (例、発光体、点検ガラス、ウッドレスト等) については保証の対象外となります。

不適切な操作をした場合、取扱説明書、清掃規定、点検整備規定及び接続規定を遵守しなかった場合、認定を受けていない者が独自に修理を行った場合、他メーカーの交換部品を使用した場合、あるいは装置に使用規定に基づかない異常な影響を与えた場合にも保証は無効となります。保証サービスの提供により、保証期間が延長されることはありません。

8. 仕様

電圧:	230 V, 50 Hz 120 V, 60 Hz
消費電力 照明:	17.3 W (230 V) 9.5 W (120 V)
ケーブル長さ:	2m [78,74 inch]
Ø 外部吸引用吸引サポート:	
内部:	35mm [1.38 inch]
外部:	40mm [1.58 inch]
寸法 (幅 × 高さ × 奥行き):	380 × 285 × 400mm [14.97 × 11.23 × 15.76 inch]
作業室 (容積):	17 l
重量:	5 kg

9. 納品範囲

- 1 吸引ボックス
- 1 ランプカバー付き発光体
- 1 添付書付き取扱説明書
- 1 交換部品リスト
- 1 アンダーグリッド (商品番号: 2626-0000 及び 2626-1000 のみ)
- 1 吸引チャンネル一式 (商品番号: 2626-0100 及び 2626-1100 のみ)

10. 納品形式

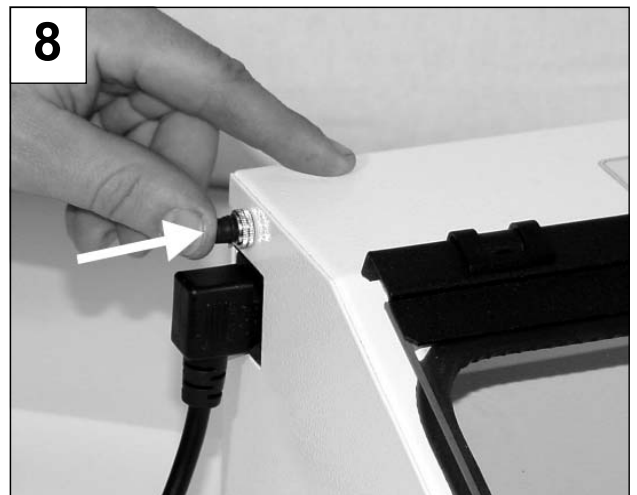
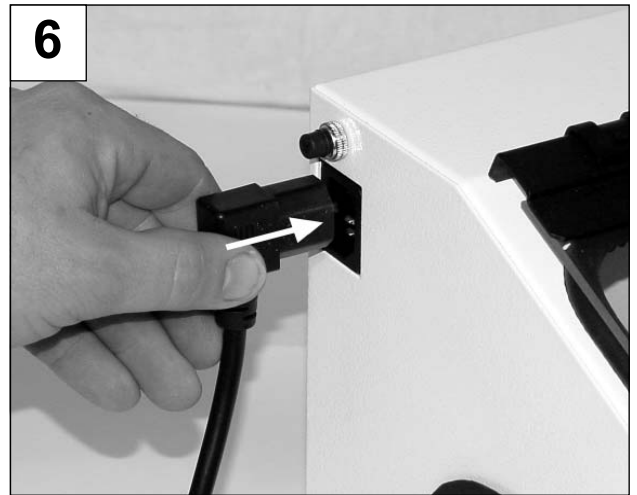
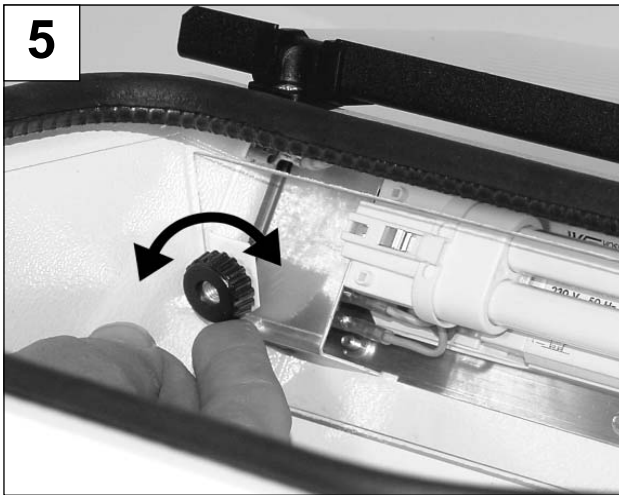
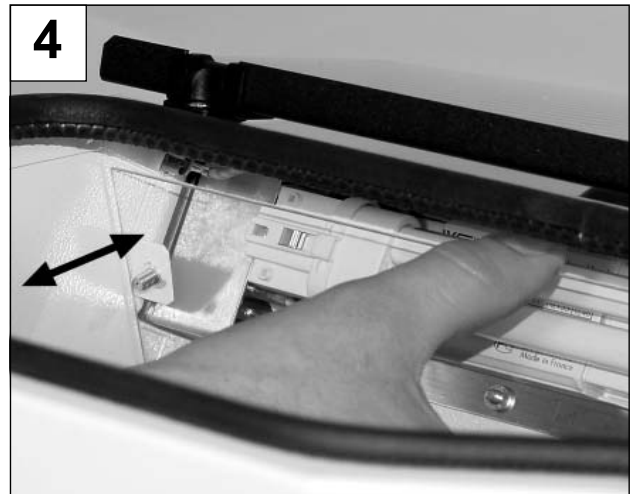
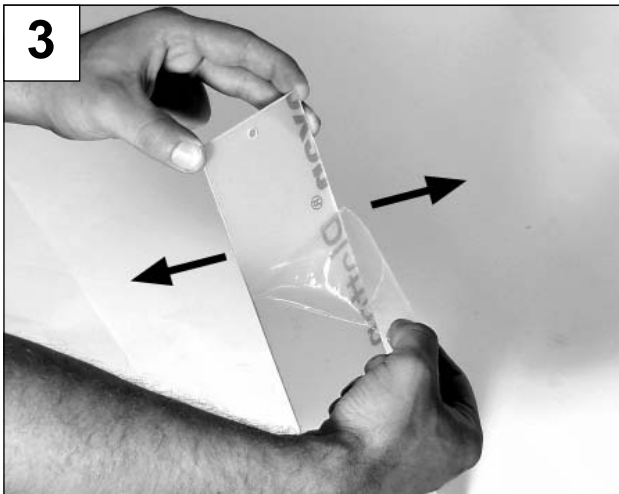
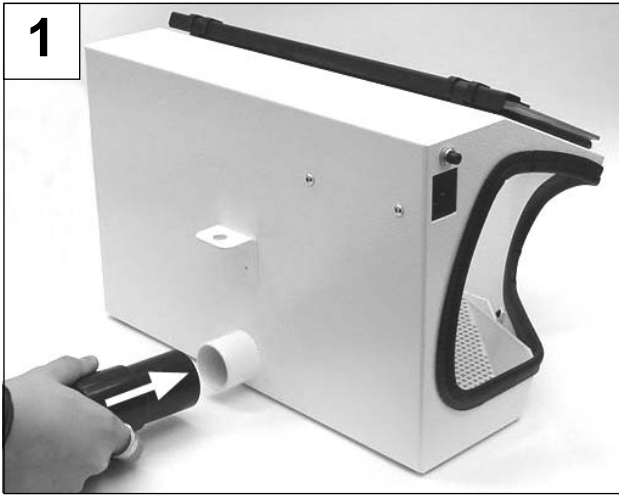
番号 2626-0000	<i>Dustex master</i> 230 V, 50 Hz
番号 2626-1000	<i>Dustex master</i> 120 V, 60 Hz
番号 2626-0100	<i>Dustex master plus</i> 230 V, 50 Hz, 吸引チャンネル付き
番号 2626-1100	<i>Dustex master plus</i> 120 V, 60 Hz, 吸引チャンネル付き

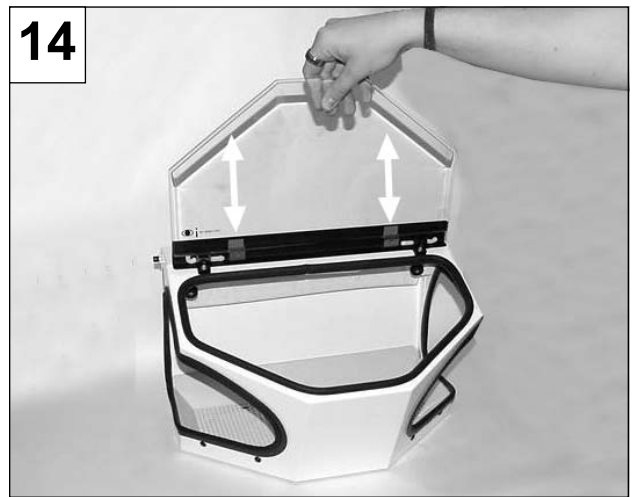
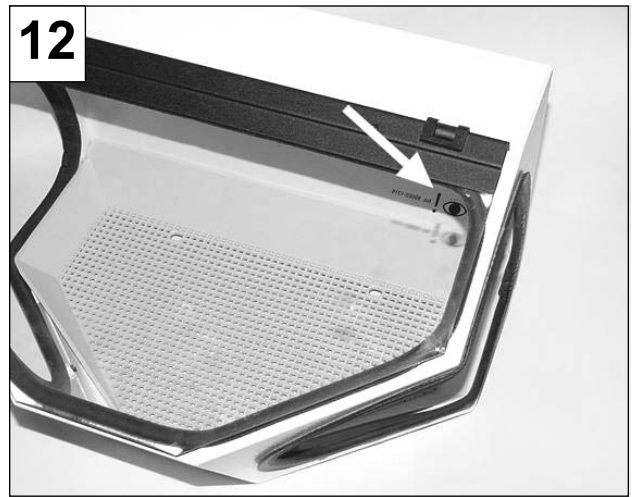
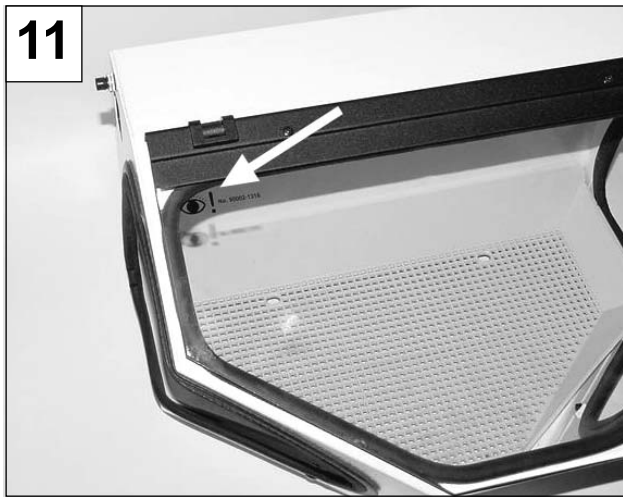
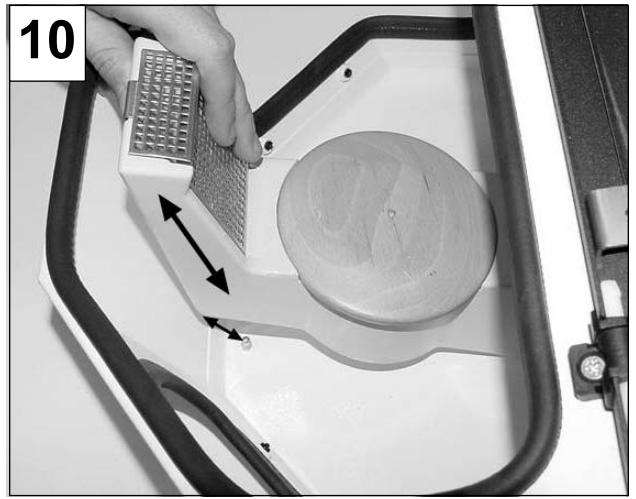
11. 付属品

番号 2626-0200	吸引チャンネルキット、 <i>Dustex master</i> の <i>Dustex master plus</i> への装置変え用
番号 2626-0300	ホルダー付きルーペ
番号 2626-0400	アームレスト

12. 欠陥リスト

欠陥	原因	対策
吸引能力が弱い。	<ul style="list-style-type: none">• 吸引トンネルの詰まり。• 吸引グリッドの詰まり。	<ul style="list-style-type: none">• 吸引トンネルを取り外し、清掃する。• 吸引グリッドを取り外し、清掃する。
ランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none">• 電源ケーブルが接続していない。• 発光体の欠陥。• 電子部品の欠陥。• 発光体がソケットに正確に差し込まれていない。	<ul style="list-style-type: none">• 電源ケーブルを接続する。• 発光体を交換する (5.4 項参照)。• サービスによる電子部品の交換又は交換部品リストを参照。• 4.2 項、発光体の取り付けを参照。

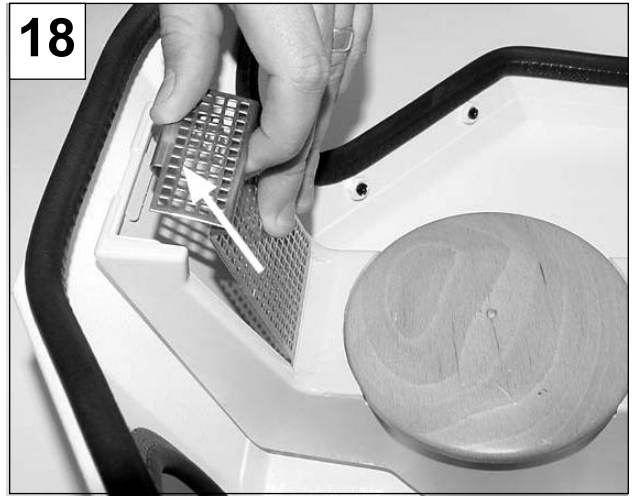




17



18



19

